～次期総合基本計画の策定に向けて～
市民説明会を開催しました。

総合基本計画は、まちづくりの基本的な方向性を示し、市民と行政の共通の目標となる重要な計画です。

令和4（2022）年度からの次期総合基本計画の策定に向けて、これまで、学識者や市民など18人の委員で構成される審議会で審議を重ねてきました。

この度、素案としての取りまとめが終了したことから、パブリックコメントに向けて市と審議会が合同で説明会を開催しました。





【 市民説明会の開催概要 】

日　程	会　場	参加人数
令和３年９月 12 日（日） 10：00～11：05	昭島市役所　市民ホール	７名

意　見	回 答 要 旨
まちづくりの目標のサブタイトルに「多様性と意外性」という文言が用いられているが、「意外性」とは具体的に何を指すのか。	「意外性」については観念的なものであり、特別に具体的な何かを表すものではない。 これからの時代は、まず「多様性」を認め合うことが大切で、お互いの違いを認め合う中で、これまでにない新しいものが生まれてくるものと考えている。こうしたことを「意外性」と捉えて、「多様性と意外性のある楽しいまち」につなげていきたいという想いである。
全体の問題の中で最も心配なのは、新型コロナウイルスのこと。 安定した医療体制を築くことは、きちんと計画にも位置付けられているとよい。安全・安心という表現があるが、どのような形で具体化されていくのかが気になっている。	新型コロナウイルスをはじめとする感染症への対応としては、基本計画第５章１－①「防災・危機管理体制の構築」108 ページに一つの項目として設けており、きちんと対応していきたい。
環境に関して騒音問題のことが気になっており、「静かなまち」「水と緑」といったコンセプトにも関わる問題と認識している。昭島市として、安全・安心で、環境に関する心配をせずに生活できるようになるとよいと思う。	横田基地の騒音問題への対応については基本計画第５章６－⑦「住環境の保全」176・177 ページに記載している。 安全・安心ということでは、全体として第５章施策の体系１「安全で安心して住み続けられるまち」105 ページ以降に記載している。また、関連して、地域コミュニティについて審議会で重点的に議論を行なったが、その中でも安全・安心の視点が中心に議論され、第５章２－①「コミュニティ活動の推進」116・117 ページに記載している。